

2006 年度

科目名 児童福祉論Ⅰ	対象学科・学年 文学部教福 2 回生 教育教福 2 回生	担当者 農野 寛治
授業テーマ 児童福祉の基礎知識を学ぶ		
授業の概要と目標 現在深刻化しつつあるわが国の少子高齢社会に対応すべく、社会の仕組みが大きく変えられようとしています。そして、このような時代であるからこそ、子どものための福祉制度、施策、実践の重要性は、ますます高まっています。児童福祉論Ⅰの授業では、現代社会における児童福祉の意義や理念、福祉需要の把握や児童福祉に関する法体系、実施制度の概要を理解する上で必要な基本的知識を学ぶことを目的としています。		
評価方法 定期筆記試験により評価します。授業をよく聴き、自身でも復習する姿勢をもって望んでください。		
テキスト 「児童福祉論」	著者 西尾祐吾 編	出版社 晃洋書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1) 少子社会と社会的子育て支援 次世代育成支援対策推進法、子ども・子育て応援プラン等、働き方と保育サービス、子どもの権利擁護 2) 慈善から福祉へ（児童福祉の歴史） 明治時代篤志家の実践～大正時代の社会事業、そして厚生事業を経て戦後児童福祉法体制へ 3) 子どもの存在・子どもの権利（児童の権利に関する条約） 制定経過と法の概要、意義 4) 児童福祉の領域と体系 法体系の概要と施策領域の概説 5) 児童福祉にかかわる行政機関－国および都道府県の役割 審議会、児童相談所等を中心に 6) 児童福祉にかかわる行政機関－市町村相談体制の整備 地方分権時代の児童福祉サービスと財政 7) 児童福祉施設① 各種施設の概要と最低基準 8) 児童福祉施設② 各種施設の概要と運営費用 9) 児童福祉の専門職 ソーシャルワーカーとケアワーカー、児童福祉司・児童委員等の公民の専門職 1 0) 母子保健施策 母子保健法、保健所・市町村保健センター 1 1) 手当等、経済的施策 児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当等 1 2) ひとり親家庭への施策 母子及び寡婦福祉法、母子・父子家庭施策の概要 1 3) 障害児施策 児童福祉法における療育指導、育成医療、補装具の給付、在宅サービスの展開 1 4) 非行・虐待等の要保護児童施策 少年法、児童虐待の防止等に関する法律 1 5) 子どもの自立と健全育成		